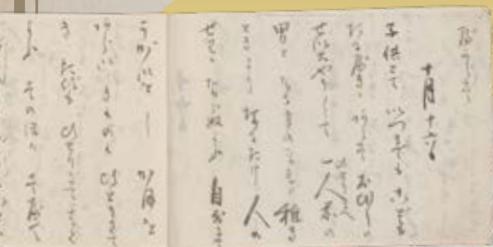


The Splendid Fukuzawa



「ひびのをしえ」



福澤一太郎迷子札



福澤諭吉還暦祝 灯台

写真撮影:プロズスタジオ
写真提供:慶應義塾大学アート・センター



福澤諭吉遺品煙草盆



福澤諭吉遺品紋付長着

不滅の福澤プロジェクト

華麗なる 福澤家の人々

令和4年 1月15日(土) ▶ 3月6日(日)

第1会場 中津市歴史博物館 第2会場 福澤記念館

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

観覧料：中津市歴史博物館／一般300円、団体100円(20名以上)、中学生以下無料
福澤記念館／高校生以上400円、団体(20名以上)300円、
中学生以下200円、団体(20名以上)150円

主 催：中津市歴史博物館、新中津市学校、(公財)福澤旧邸保存会 / 後援：慶應義塾

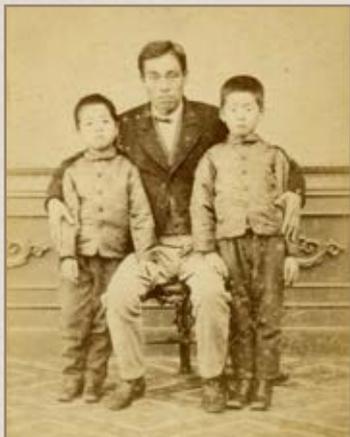




華麗なる 福澤家の人々



令和4年 1月15日(土) ▶ 3月6日(日)

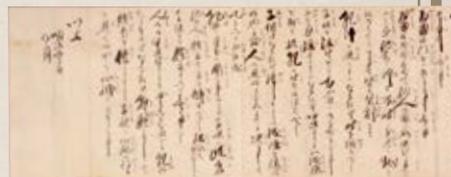


福澤諭吉と息子一太郎・捨次郎

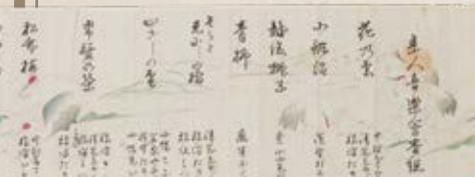
近年、家族や生活のあり方は多様化し、家族とは何かということが改めて問われています。福澤諭吉は家族論や女性の社会進出に関して著書を執筆しました。例えば、福澤は結婚時の姓について対等な二人が新たな家庭を築くこととして、妻と夫それぞれの姓より一文字ずつ取って新たな姓を作ることを提案しています。姓の選択は現在も大きな社会問題の一つですが、男尊女卑の風習が強い時代にこのように提案したことは、福澤の先進性を表す一つの事柄といえるでしょう。また福澤は「文明の家庭は親友の集合なり」と語り、父母に上下がなく、子が尊重され、団欒のある理想の「家庭」を親友と表現しました。実際、福澤家はどのような様子だったかという、妻・錦とはおよそ40年もの間連れ添い、四男五女に恵まれた家族仲のよい家庭でした。福澤が家族に見せる姿は、妻を気遣い頼る夫、子どもに過保護な父親といったもので、現在一万円札の肖像として広まる厳然としたイメージとは異なるものでした。本展覧会では、福澤家の様子や子どもたちといったプライベートな点に着目し、福澤諭吉の日常や家庭での姿、家族像について展示紹介します。



福澤桃介



乳母の心得の事



福澤家庭音楽会番組表

イベント

(各館観覧料が必要、予約は中津市歴史博物館まで)

慶應義塾史展示館 リモートギャラリートーク

会場：中津市歴史博物館、要予約、定員30名

- 1月23日(日) 13:00～

ギャラリートーク

要予約、定員各10名

- 1月16日(日) 10:00～中津市歴史博物館
- 1月16日(日) 13:00～福澤記念館
- 2月26日(土) 10:00～中津市歴史博物館
- 2月26日(土) 13:00～福澤記念館

福澤諭吉入門!こども向けワークショップ

会場：中津市歴史博物館

要予約、定員各10名、小学生以上対象

(中学生以下の場合は保護者同伴、お子様の参加は無料です)

- 2月6日(日) 10:00～
- 2月11日(金・祝) 13:00～

ワークショップ「ひなのをしえ」を読む

会場：中津市歴史博物館、要予約、定員各15名

- 2月6日(日) 13:00～
- 2月11日(金・祝) 10:00～

画像提供：慶應義塾福澤研究センター

福澤記念館

〒871-0088 大分県中津市留守居町586番地
TEL (0979) 25-0063 / FAX (0979) 23-2938
開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
無料駐車場有
休館日：12月31日



<https://fukuzawakyuko.com>



中津市歴史博物館

〒871-0057 大分県中津市1290番地(三ノ丁)
TEL (0979) 23-8615 / FAX (0979) 23-8616
開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)
駐車場：22台
休館日：毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)



<http://nakahaku.jp>